

KOBEKKO MAGAZINE

★MAY 5★ 神戸っ子★
1972 NO. 133

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和47年5月1日印刷 通巻133号
昭和47年5月1日発行 毎月1回1日発行





La ville de femme

＜都会の女らしさを……＞

コバルトブルーが映えるころ
5月の風がやさしく通りすぎていく

婦人服飾 **ベニヤ**
神戸

神戸/三宮センター街
神戸/さんちかレディス・タウン
神戸/三宮ニチイ 2F
大阪/梅田阪急三番街
大阪/ミナミ地下センター
大阪/上本町 近鉄百貨店3F
東京/日本橋東急百貨店1F

PHONE:391-5528/9
PHONE:391-1204
PHONE:331-9825
PHONE:372-8093
PHONE:213-6128
PHONE:779-1231
PHONE:211-0511

PHOTO/山口 清 モデル/マードリン・ストンバーグ テーブルといす/花屋敷

若い日の思い出を刻んでください
 若鮎のような指にミキモトのリング
 今春 一番うれしい贈りものです



— 世界の宝石店 —

MIKIMOTO

本店＝東京＝銀座4丁目 TEL. 535-4611

神戸＝三ノ宮＝神戸国際会館 TEL. 221-0062

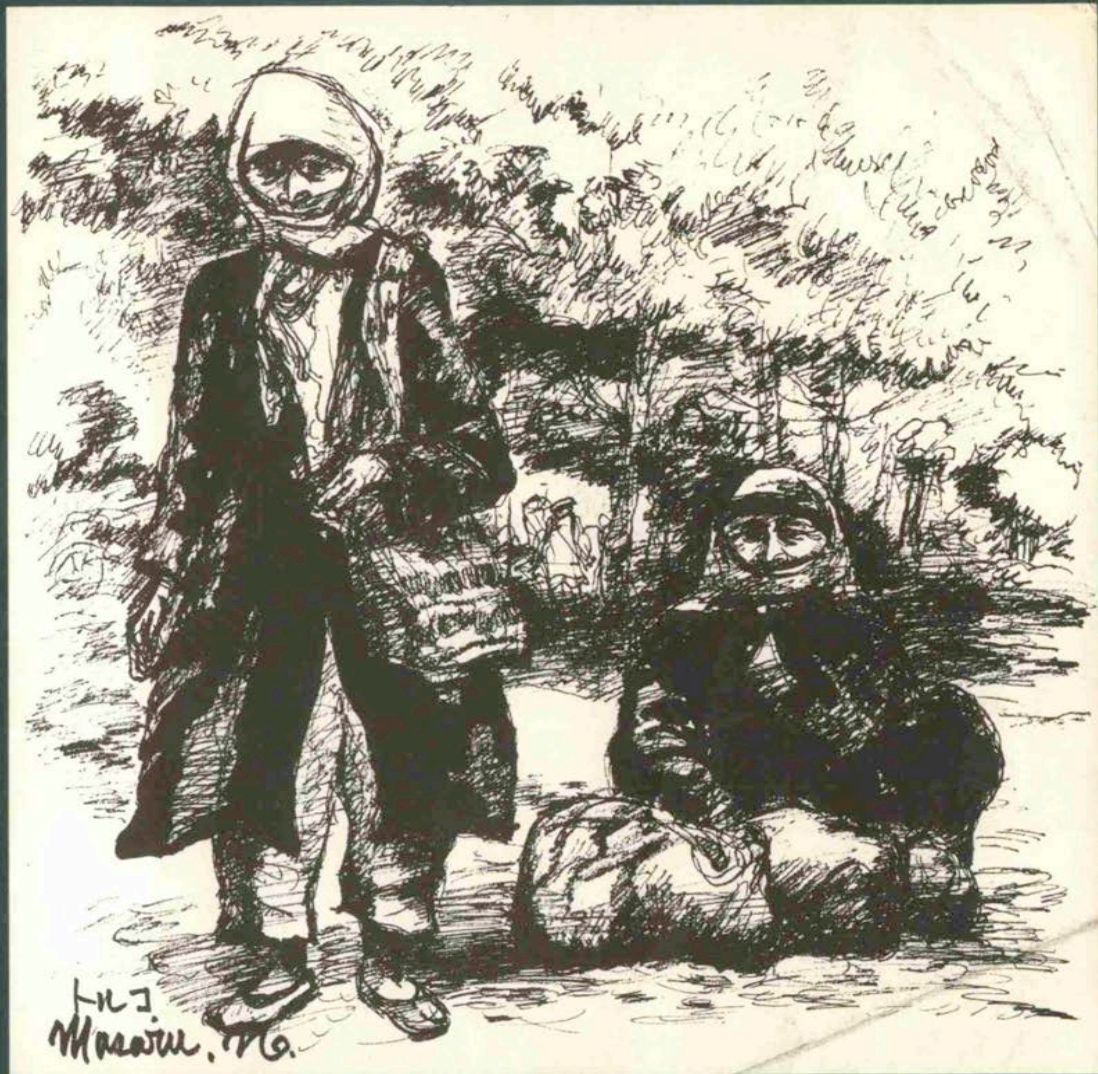
大阪支店＝堂島＝新大ビル TEL. 341-0247

京都支店＝河原町蛸薬師上ル（BALビル4階）TEL. 241-2970

大阪＝高島屋・阪神・阪急・松坂屋

御木本真珠店 © 1972

私は外へ出て見た<23>——TURKEY コンスタンチノーブル



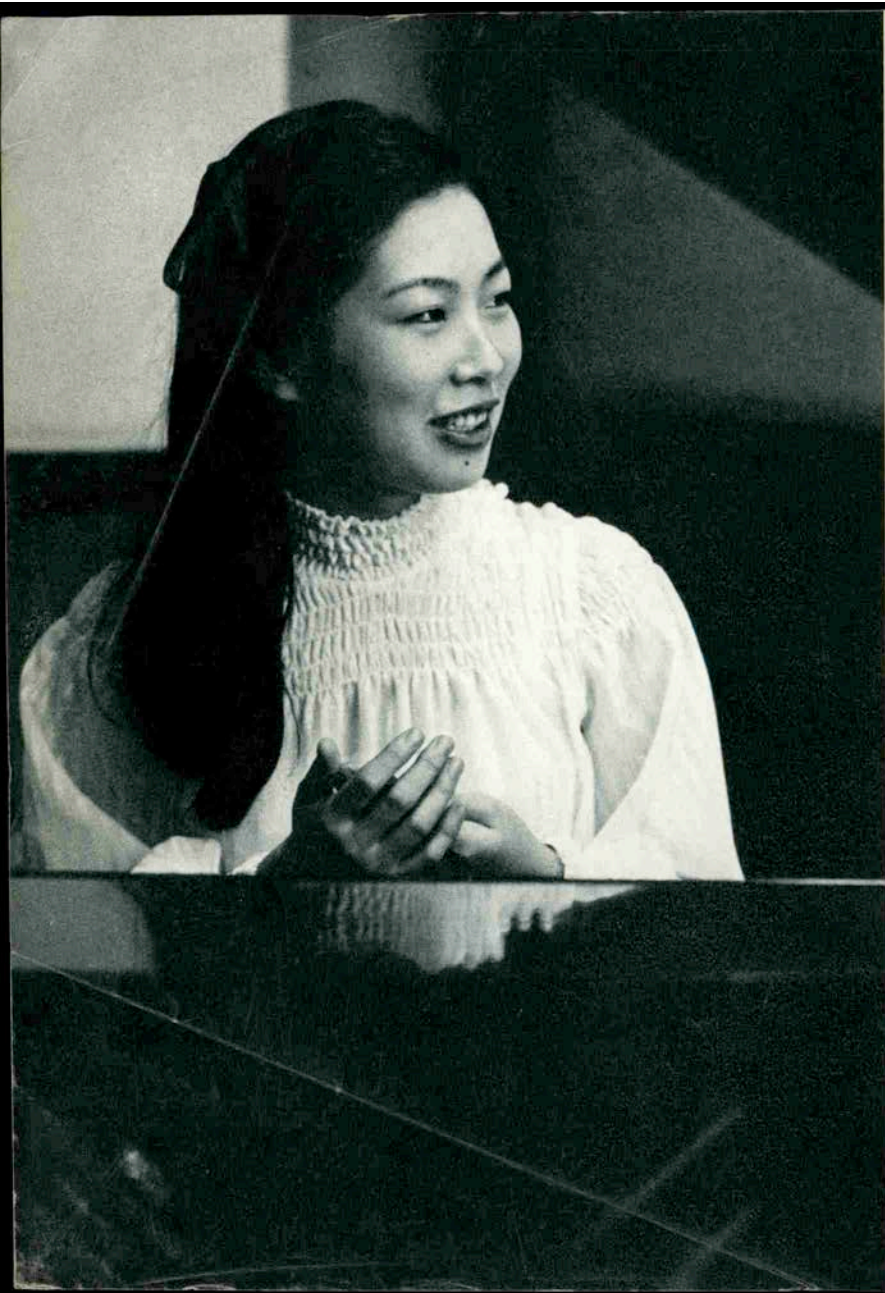
夕景の遺跡で見たラクダのキャラバン
山に住む亀のドッキング
アラスマラデックギュレギュレ（アイサツの言葉）
私はトルコではなく「コンスタンチノーブル」の旅を
続けた。

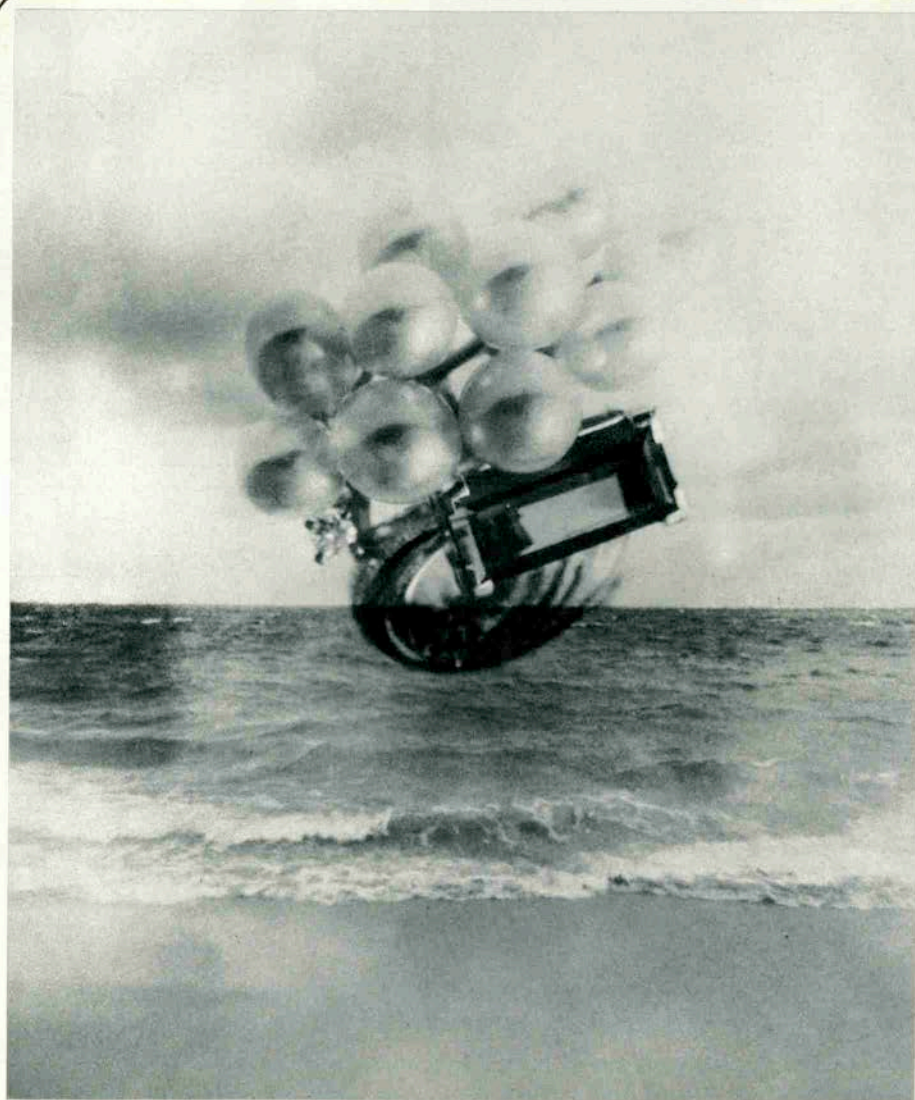
花を愛するピアニスト

伊藤ルミ（ピアノ）カメラ・米田定藏

力強い、軽やかなピアノの調べと、手作りの可憐な花が部屋いっぱいにかラフルにひろがる。

花を愛し、音楽をこよなく愛する伊藤ルミ（22）さんは六歳の時から東貞一氏（大阪芸大ピアノ科教授）に師事し、16年間みっちりクラシックの基礎を学んだ。昨年は、毎日サロンでリサイタル、新宿朝日生命ホールでの「期待されるピアニストの夕べ」に参加、そしてこの一月には大フィルをバックにベートーベン第五「皇帝」を演奏し、若手ながら切れあじのある才をみせた。音楽好きの家族に囲まれ、大変朗らかで誰にでも愛される彼女、演奏の度にファンの「親衛隊」が応援に駆けつけるといふ。五月十五日には大阪の厚生年金会館での指揮リサイタルに出演の予定。松蔭短期大学英文科卒。灘区在住。〈写真・自宅にて〉





TASAKI PEARLS

大地から花
海から真珠

品質で世界に築くタサキの信用

田崎真珠

- 本 社
神戸市葺合区旗塚通6-9
☎231-3321
- パールファーム神戸
神戸市灘区六甲台町24
☎871-9289
- さんブラザ店
神戸さんブラザビル・3F
☎391-4085
- 大阪ブラザ店
大阪・ホテルブラザ内
☎458-2449

婚約リングのカタログご希望の方は
上記へご連絡下さい

● 神戸っ子 '72

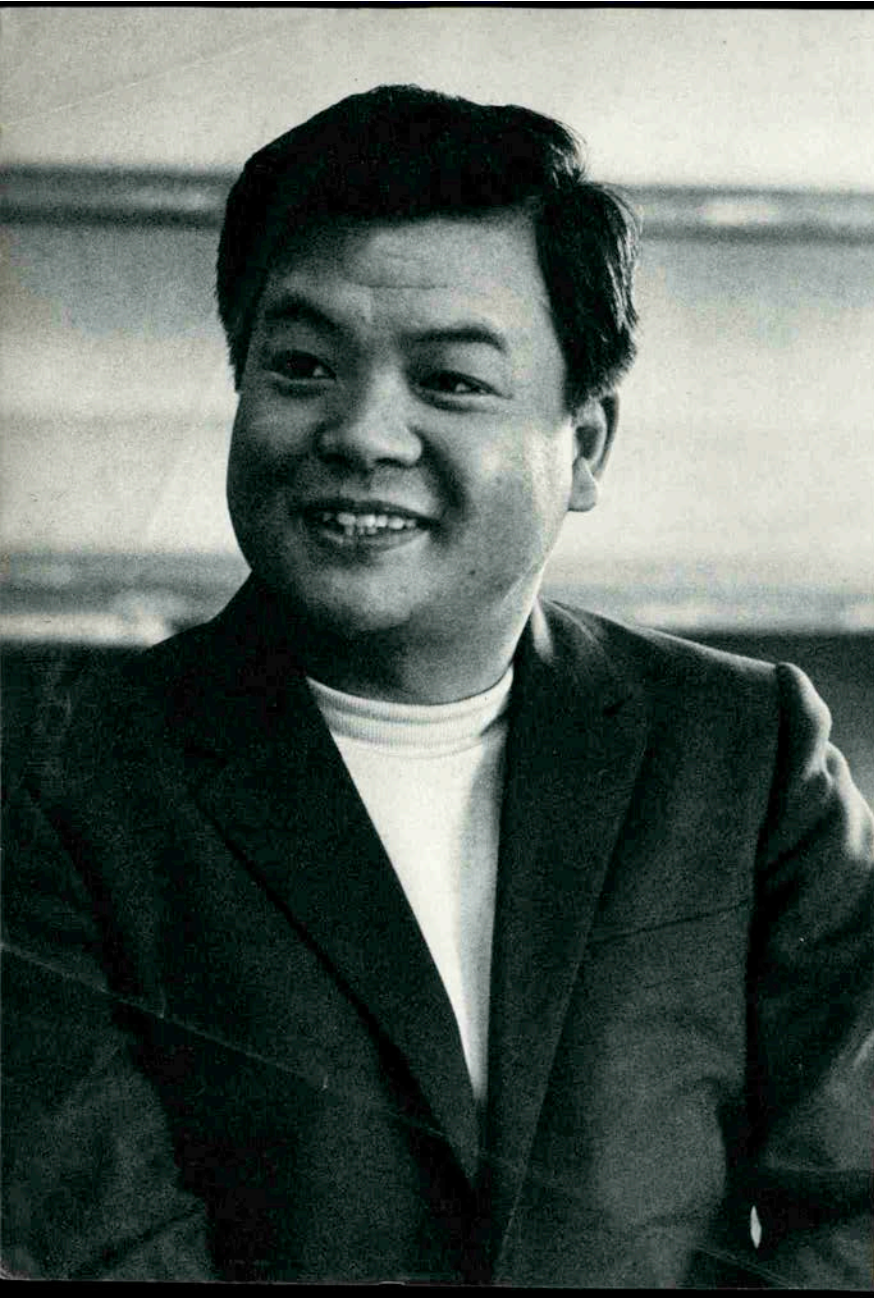
沖繩の心を歌う

中村はじめ

〈神戸青年合唱団団長〉カメラ・米田定蔵

初夏の五月十五日、念願の沖縄本土復帰が実現する。

戦後、アメリカの占領下で大衆の中から自主的に起った「うたごえ運動」の創立20周年記念事業の一つ、歌劇「沖繩」で、力強く沖縄の心を歌う中村はじめさんは、一昨年全国31カ所で第一次公演を、今年は三月から六月十五日まで全国32カ所で第二次公演をと、もっぱら体当りで沖縄にうちこんでいる。長田高校コーラス部の時、うたごえ運動に参加して以来今年で20年目。神戸青年合唱団の団長として、さらに昨年夏から始めた「うたごえ四人の会」のメンバーとして、神戸の文化活動に意欲的にとりくんでいる中村さんだが「練習をする場がないので、神戸にもぜひよい文化施設を」とちよっぴり行政に対する注文も忘れない。今後の活躍が期待される神戸っ子である。〈写真・神戸国際会館の楽屋にて〉



確信をもってタジマの眼が選んだ宝石の名品



白金台ダイヤ入りフルーサファイヤリング

宝飾店
Tajima
タジマ

元町2・TEL 331-5761 代表

タジマでは、宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますので、お気軽にご利用ください。定休日は月曜日です。

ある集い

清葉会



N 360でさえ通れなくなつて車を降り、たどりついたのが灯籠茶屋。といっても、三宮から十数分、山手短大のすぐ上、ここで毎朝七時から年中無休で持たれている謡曲の会が「清葉会」で、謡と「登山」を結びつけたこの集い、「氣楽に、健康に」をモットーに続けられている。

メンバーの職業も会社員、公務員、僧職と多種多様であり、いわゆる「謡の会」という言葉から、受けるイメージとは異なり、非常に楽しく愉快な雰囲気。

平日は一番、休日は二番ブラスアルコールというペースで、四季に合わせた曲目を謡い、月例会の他、年に二回はゲストを迎えて発表会を持つとかく、縦の関係で集まりがちな、この種の会で横のつながりを重視し、意欲的に活動する「清葉会」、灯籠茶屋の御主人の協力もあり、更に楽しい集いとなるだろう。

(二十四ページ参照)

★写真 左から魚谷佳代、柴田しみえ(前方、灯籠茶屋の御主人)、野口洋子(後方)、陰山晃彦、元山清(前方)、今井武(後方)、滝本勝、元山葉津子、牛田憲三、早川義一、坂本孝次、坂元英夫の皆さん。



クリスチャン・デオール・ダイヤモンド



パール・クリエーション

ヤングカジュアルからアダルトファッションへ、女らしさをよりさりげなく表現しようというのが、初夏から夏へのファッションの動き。

美しさのデリケートな変化が、あなたの装いのポイント。

鮮やかなファッションイメージの世界を創り出す金子真珠の華麗なバリエーションをあなた自身のものに。

おしゃれをリードする……

金子真珠

神戸店：神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824

TEL (811) 2881~4

銀座店：東京都中央区銀座7-8-5

金城ビル5F TEL (572) 2226~7

ホテルバシフィック店

東京都港区高輪3 TEL (445) 5303

福岡店：福岡市天神4丁目80

福岡ジョッパーズプラザセンタービル(3F)

TEL (72) 5411 内線 589

長崎市：長崎市大黒町14-5 長崎ビル2F

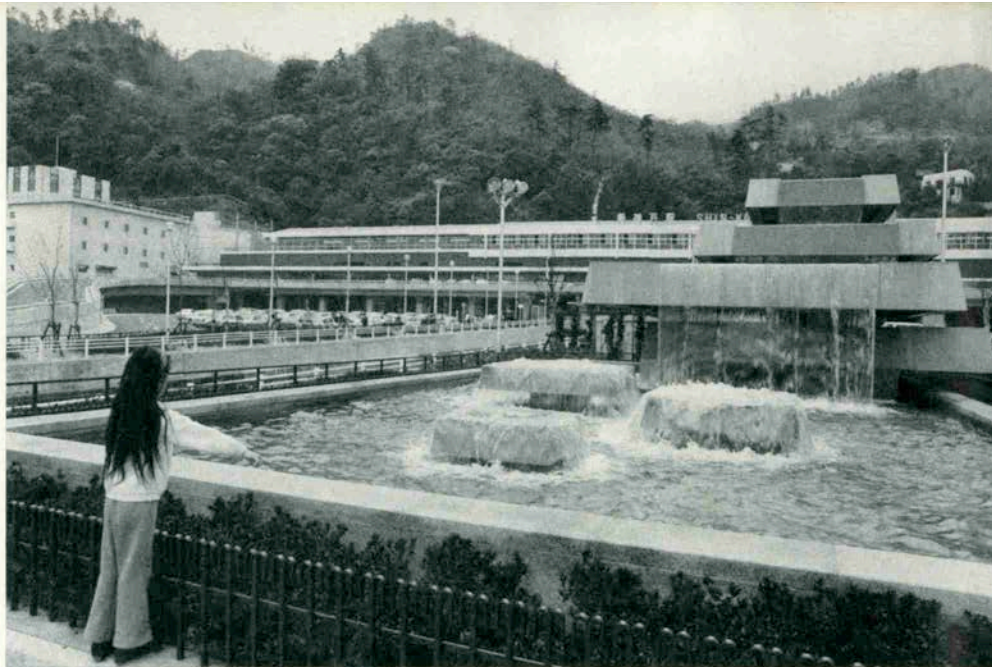
TEL (25) 1119



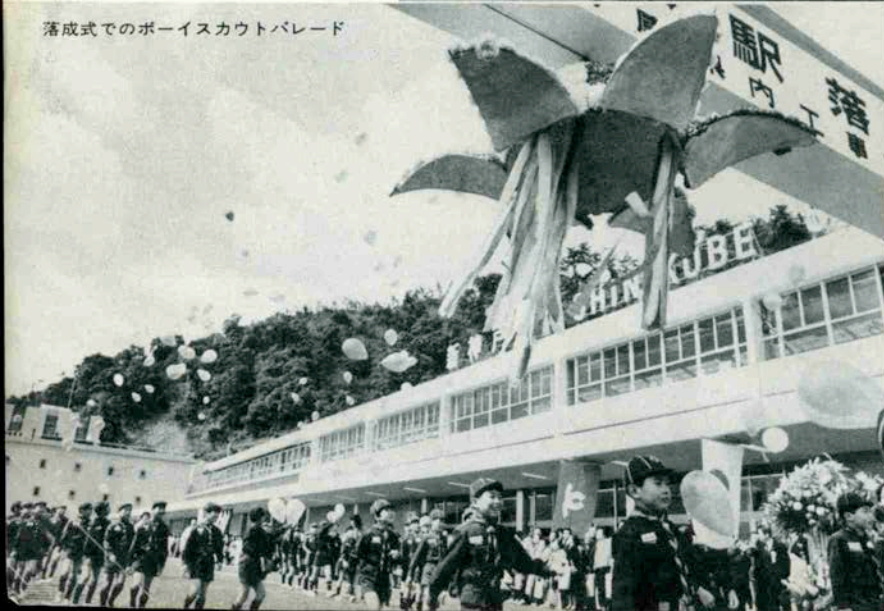
● コウベスナップ

3月14日、兵庫県内の新幹線工事が完成、新神戸駅落成記念式典が行なわれた。六甲トンネルと神戸トンネルにはさまれた490mに、国鉄でも珍らしい河川上の駅として新神戸駅は誕生。駅前広場とともに、「みなと神戸」の新しい陸の玄関をかたちづくる。

「ひかり級都市」としての神戸のさらなる発展を!



落成式でのボーイスカウトパレード



ターミナル前の噴水

新神戸駅誕生

▼少し南の生田川公園にできた「ハトと絵のある彫塑」安川尚江ちゃんの作品をもとに「傘の会」が描いたもの。



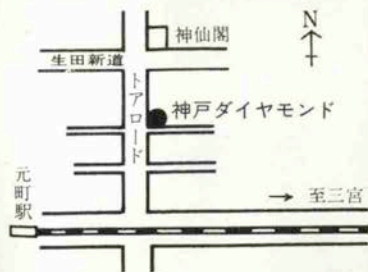
神戸ダイヤモンドシリーズ

花と宝石〈4〉

レオンキュラス
と
エメラルド

水藻の底までも
見透せそうなエメラルド
深くしずむ女の心を
鮮やかにとらえる緑
華やぐ5月の花にそえて

モデル・岡田由利 (K・F・G)



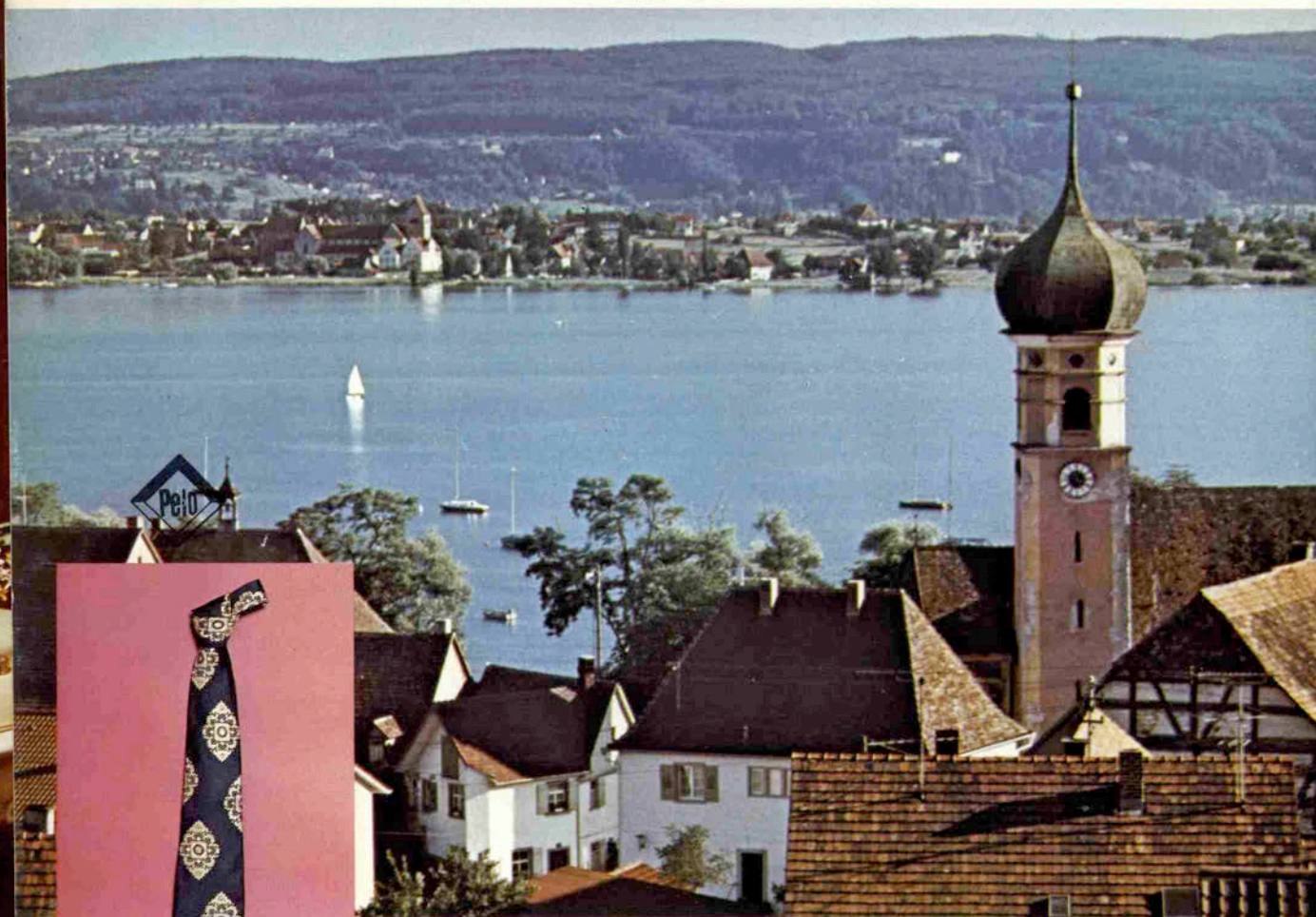
トアロード



神戸ダイヤモンド
KOBE DIAMOND

TEL. 078 (331) 0690・2755・2397

西ドイツの旅 4〈ボーデンゼ〉



ネクタイの

元町バザー

神戸元町1丁目 TEL331-1401・7031

東京  **東急** 百貨店

渋谷本店／日本橋店

〈大阪神戸独逸国総領事館〉

Thoughtful Gentleman

自由な雰囲気を楽しむ

向井 章(眼科医)

とても神経を使うお医者さんの仕事の解放感を洋服で楽しむという向井さんは、自分なりの着方を色とか柄とかに気を配って楽しんでいる方。

ネクタイは、余りお好きではないとかで、ブレザーの下にシャツとかタートルネックのセーターをラフに着ることが多いそうです。

世界のオシャレをおとどける

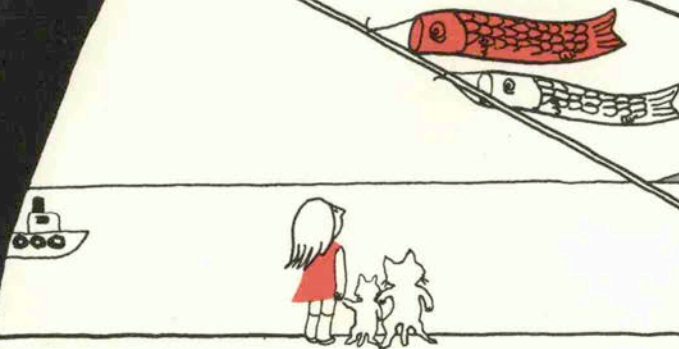
ウネ

神戸元町1丁目 TEL 331-3112

東急百貨店 渋谷店・日本橋店

PHOTO/山口 清
兵/塚トヨタ自動車にて





これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です。

5月号目次

- 小磯良平 〈部分〉
1 SECOND COVER／私は外へ出て見た(23)中西 勝
4 神戸っ子72／伊藤ルミ・中村はじめ
5 ある集い／清葉会
9 神戸スナップ／山陽新幹線神戸駅開業式
11 わたしの意見／妹尾美智子
19 随想三題／良平叔父の思い出(その3) 飯塚祇之／開局二十周
21 年に思う・奥田博之／吉しやん・大石可久也
24 ある集いその足あと／清葉会
26 れんさい史話(2) 兵庫開港と神戸開港／宮本又次
28 ずいそう／望月美佐・童心通神
30 インタビュー／ザ・シャデックス
33 神戸っ子座談会／砂野 仁・藤井久雄・吉田智朗
37 経済ボケットジャーナル・神戸オフィスレディ
38 技術ジャーナル⑥諸岡博雄
41 特集①・72神戸まつりがやって来た。
49 特集②神戸まつりガイド
54 神戸のアーバンデザイン・神戸のモダンリビング／水谷顕介＋チームUR
56 神戸遊戯誌(一〇四) 器械体操④青木重雄
58 世界の福祉施設ルポ(14) 機本 明
61 神戸の集いから
62 動物園飼育日記(1) 亀井一成
72 ザ・シャデックスと神戸まつりの歌
74 小さな目の歌／神戸大学グループ
76 ポエムカラー／ジュ・コラージュ・石坂春生／詩・多田智満子
78 KNIT KINT KOBÉ (May)
Fairy KOBÉ(お祭りの日のショッピング)
れんさいルポタージュ⑤北神戸を行く／原野の山田文楽・黒部 亨
115 淀長立見席⑤淀川長治
126 カラージュコミックス
124 コラージュ④ 勝・赤根和生
137 神戸百貨店だより
138 ポケットジャーナル・花時計・KOBÉ POST・美術ガイド
146 連載小説 キリシタンの墓／小山牧子／え・石坂春生
150 連載小説 曲線ハイウェイ／武田繁太郎／え・横塚 繁
162 ANGLE KOBÉ ⑤五月／カメラ／一ノ瀬元子
164 海・船・港／黒潮丸を訪ねて

Green apples page
びつといん

フランソワの神戸居候日記(下)

Talk of KOBÉ (5) 街のおしやべり／え・横 忠

カット／岡田 淳

カメラ／米田定蔵・藤原保之



'72 SUMMER

スィムスーツ

登場!

●2階水着売場へどうぞ

東京・ギンザ

San-ai | 三愛

三宮店 センター街さんプラザビル2・3F
AM11:00~PM8:00 ☎391-6861

☆わたしの意見

第二回神戸まつりはなやかに

妹尾美智子

〈神戸市婦人団体協議会事務局長〉



「花と海と太陽の祭典。」

花のごとく明るく、花のごとくかくわしい、海のごとくすがすがしく、海のごとくくびやかに、

太陽のごとく情熱的に、太陽のごとく力強いエネルギーを爆発させよう」

こんな呼びかけで「第二回神戸まつり」の準備がはじまりました。私たちは昨年と同じように、神戸まつりパレードのお世話をさせていただくことになりました。

去年はお天気も良かったし、ご参加下さったグループも沢山あって、本当に楽しいおまつりでした。ただ一つ気になったことは、見に来て下さった皆さんが、ちょっと観にくかったのではないのでしょうか。

今年の神戸まつりは、五月二十日と二十一日です。今年でも今年は湊川神社と国鉄の百年祭を一緒にしていただけたとか、或はシアトル・マルセーユなどの姉妹提携都市の皆さんが参加される港湾セミナーが開かれるとか、またNHK・TVの全国放映が予定されているなどと、去年以上に賑やかになりそうです。また見に来て下さった皆さんのために、サジキか椅子で見やすい観覧席をつくることも計画して準備をすすめています。

パレードには、今年新しく「こどものまつり」を加えることにしました。童話の主人公の登場、可愛い動物の縫いぐるみ、ちびっ子フラッグ隊、もしかすると仮面ライダーやウルトラマンも飛び出してくるかもしれません。まつりのオンパレード、まつりのオリンピックが、緑の五月に神戸の街いっぱいには展開されることでしよう。「神戸まつりパレードに行ったら、日本中の、いや世界中のまつりが見られるよ。」そんな声が聞かれる神戸まつりパレードにしたいと、大きな夢をえがいています。県人会の方々の積極的な協力があったら、お国じまんなどが沢山出てきて、もっと神戸らしいおまつりになるのではないのでしょうか。

私たち市民のおまつりとして、と一緒に楽しく育ててまいりましょう。

美しい時計をつくり続けてきました
 スイスで1791年から……

No.9081 ステンレス 36,000円



ジラル・ペルゴ

永久に正確な時を刻むジラル・
 ペルゴ。香り高い芸術の気品
 をしのばせるデザイン。世界に誇る
 スイス時計の逸品です。

GIRARD-PERREGAUX

特約店
美甲時計店

元町店・元町三丁目 TEL.331-1798
 三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL.331-8798

随想三題



カット／大石可久也

良平叔父の 思ひ出 〈その3〉

飯塚 祇之

〈富士重工工業KKデザイナー〉



そして、十数年の星霜は東の間に過ぎ、戦後の混乱期も過去のものとなって、再び平和の声が聞かれるようになった頃、私は毎年開かれる、東京上野の都美術館での新制作協会展を、欠かさず見に行っていた。そんなある年の秋であったろうか。既に会社の美術部の一員であった私に、部長から『君、会社のカレンダーの絵にしたいのだが、誰か画いてくれる人を知っているか?』と。よせばよいのに

私のおっちょこちよいから、相手の迷惑も考えずに叔父の名を口にしてしまった。

これはしまったと思っても間に合わない。恐る恐る叱られるのを承知で、件の事をしたためて一筆啓上仕ったものである。それから三日たち、五日たっても返事が来ない。筆不精とは以前父から聞いてはいたが、いよいよもって……。

と、十日程して一枚のハガキが舞込んだ、『都美術館へ来るように』と。早速美術部長と連立って、約束の時間に約束の場所へ出掛け、あの眼の小さい、少々小肥りのした叔父の笑顔が、私達を迎えてくれた。実のところ私が、この叔父の顔を知っているのは、世の中に知られるようになって、新聞や雑誌に顔写真が載せられる、それを見た私が、『ああ、小磯良平という叔父の顔は、こんな顔をしている

んだな』と、頭の中に刻み込んだもので、四・五才の頃仁川で逢った顔なんて憶えているわけがない。とは、前にも述べたように、仁川のことは記憶に残っておらず、父や叔母の話だけのだから。

こうして、今実際に逢った叔父の顔は、ホントに子供の頃からずっと知っていたのだと錯覚するほど、親しみのある濃厚な眼差しで、何んの屈託もなく昨日まで一語に話合っていたかのように、この三十数才にもなっている私を『まさ坊』と呼んでくれたのは、胸のつまる程うれしかったことを思い出す。この時の語らいの中に、前に述べた彼のスケッチブックにらく書のことが出たのである。

やがて、館内を一巡してから食堂に入り、コーヒーなどを呑みながら、あの多忙の中からカレンダーの下絵を画いて、今ここに持ってきて来て下さった叔父の温かい心根が、再び私の胸を突く……その下絵を、テーブルの上に置き『まさ坊の頼みじゃあ仕方がないよ』といわれたときは、ちよつとすまない気がしたが、心の中では『何んていい叔父さんなんだ』と、うれしくてたまらなかったことを憶えている。こうして、色々と思ひ出を綴ってみたが、さてそれから……もうすでに現在で十数年が過ぎてしまっている。

またいつの日かどこかで、ひょんなことから逢うこともあるが、もうそろそろお年、無理をしないでどうぞいつまでも、達者で精進され、そして神戸の皆さんに末永く愛される叔父であってほしいものである。(終)

開局二十周年に

思う

奥田 博之

ヘラジオ関西アナウンサー



私がアナウンサーというあたかも空気に向って絵筆を動かすような仕事を始めてからやがて十五年民間放送のほとんどが今年開局二十周年を迎えますから、私は青年時代の大半を民放の世界で過ごしたことになります。

考えてみると民放ほど奇妙な生まれ方をした企業は他にあまり例がないでしょう。昭和二十五年に電波三法が成立して民放誕生のきっかけになったのですが、これはGHQ肝入りの放送法によってNHKの独占が許されなくなった結果の産物ともいえるはあります。「自由な事業」としての一般放送企業体」当時吉田内閣は国会での野党質問に答えて民放をこう定

義づけています。

さて、自由な事業としての一般放送企業体とは一体どんなものなのか？ 放送局にあらずして放送会社とは？ スポンサーからの広告料収入を経営基盤とするそうだがビルにおさまったチンドン屋が果して儲かるのかしら？ 今なら笑いはなしですが、当時民放マンの先達の胸中は恐らく、？の連続と未知への不安とパイオニアとしての気負いが入りまじった複雑な心境だったにちがいありません。ですから文字通りの暗中模索だったでしょう。人事や機構図はNHKのそれをそっくり拝借したようです。しかし大切な商品でもある放送番組は地域の人々に親しまれ、よりダイナミックに結びついたものにしたい。少くともNHKにはない新しいものを創ろう。こんな意欲に満ちていたのも事実のようです。

例えば当時のラジオ神戸はアメリカの地方都市でその頃人気のあったDJ番組「電話リクエスト」を真先にとりあげています。以来電話リクエストはラジオ関西の看板番組としてメッセージに託された人々の喜怒哀楽を音楽とともに卒直に伝えつづけてきました。往時の想い出を語るとき、パイオニア諸兄の瞳は荒野をめざす青年のそのように今も熱く輝くの

です。しかしこれは民放全般にいえることですが、NHKを真似た大世帯機構とアメリカ合理主義の産物DJワマンショー。この奇妙なとりあわせに象徴される矛盾は、その後次第に民放自身に深く根ざしたようですし、現在体質改善を迫られる民放各局の悩みのタネになっているのは、時の流れとはいえ何とも皮肉なことではありませんか。

何はともあれ誕生後二十年――ようやく民放メディアの輪郭が地域の人々の意識の中に確かな存在として定着し始めたようです。それにつれてアナウンサーの役割りや呼び方さえ変わってきました。個性と主観を強く前面に押し出すアナウンサーはパーソナリティやキャスターと呼ばれ聴き手と体臭を感じあうといったって気楽なつきあいを始めています。

「いやしくも、アナウンサーはどんな場合でも感情を表に出してはなりません。常に客観、中立の立場に立ってたんたと事実のみを伝えるべきであります。」かつてのアナウンサー心得にこんなくどりがあったのを覚えています。

一理あることは認めます。けれども客観や中立的立場に立つ限り血の通った対話はのぞめないでしょう。第一、人と人との真実の語らいは古来そんなものではなかつ

たはずです。罪のない子供たちがナバーム弾で無惨に焼き殺されているニュースや、可愛い我が子を無謀運転の車に轢き逃げされた両親の嘆きを、何の感情もまじえずたんだんと喋れといわれても、私には到底無理な相談です。

客観、中立なんてくそくらえ！私はこれからも自分の全感覚で捉えた人間のナマの反応を頼りに、信じるところを思い切りマイクにぶつけ続けるつもりです。

「ネタに困ったら空を見ろ、晴か曇りか雨か雪かのいずれかだ。時候の挨拶をしている限り誰も君に反感を抱かないであろう。」

いやまったく私はアナウンサーの中の鬼っ子でございます。

吉しやん先生

大石可久也（画家）



昭和十九年、御影の師範学校を卒業した私は淡路島の仮屋という漁師町の小学校教員として俸職していった。受持は五年生、松組が海堀吉松先生。私は竹組、梅組に女の先生がいて学年主任が吉松先生である。子供たちは吉しやん吉しやんと呼んで親しんでいた。いつもあごのあたりに無精ヒゲ

が生えていて国防色のヨレヨレしたカッターシャツに母ちゃんのすり切れた腰ひものネクタイをしていた。そしてチューブ無しの丸タイヤの自転車でゴロゴロと隣村から通ってくるのであった。

途中で雨にやられてビシヨヌレになった吉しやんは手あぶり火鉢三つを教室に持ち込んで授業が始まった。大声の吉しやんだから壁一枚の私の教室によく聞こえる。

『二度と来るまい丹後の宮津織の財布がカラニナルウ』先生に続いて子供たちも、カラニナルウとやるのである。地理で丹後地方を勉強中なのであるが、教壇の両脇にある火鉢では一人の子供が先生の上衣をあぶっている。もう一人はズボンをあぶっていて、もう一つはパッチ姿の吉しやんの股下にあるのです。

運動場は一面芋畑となりその間あちこちに防空壕が造られてあった時代だ。吉しやんは子供たちに次は武道だから木剣をもって運動場に整列……子供たちはワイワイいながら校長室の隣にある校具室に木剣を取りに行ったんですがやかましいので校長が大いにおこって『君ら何組や、木剣を置いて帰れ』子供達は『先生校長先生木剣くれません』と伝えた。吉しやんは『よし俺についてこい』校長は入口でがんばっていた。『校長

先生、チョット失礼』と片手を出して中に入るや吉しやんは大声で、『皆取りに来い』とやった。

エイ、ヤー、子供たちは芋畑で木剣をふっていたが、校長先生は気分がおさまらない。チョビひげに赤ら顔をして芋畑へと出て行った。トタンに吉しやんが叫んだ。

『敵機来襲、タイヒー』子供たちは一斉に防空壕にとかけこんだ。

運動場が使えないがものの三分も行けば白砂の浜辺だったから体操の時間はいつもマツチ工場のあゝる浜で行なわれた。吉しやんの号令と共に砂浜へと掛け足で出かける。吉しやんはマツチ工場のくづれた土べいの上にあがって、一、二、三、とやるのであるが折しも浜では漁師たち地引網を引いていた。エンヤコオリヤ、エンヤコオリヤ、『よし今から網引を手伝う、カカレー』吉しやんの号令一発子供らはカン声上げて網を引いた。『先生すまん、ええ先生やあ』『先生ちつとばあやけどオカズにしてくれ』、イカナゴの新聞づつみを吉しやんの手ににぎらせた。吉しやんはヒゲ面をニタアとさせて『すまんあ。ごちそうやなあ』

今度は急にアゴを引いて叫んだ『全員整列、カケアアシ進め、一二、一二』、新聞包みを小わきにかかえて芋畑へと帰って行くのであった

あるつどいその足あと

山で謡曲を楽しむ

清葉会のあゆみ

坂元英夫〈清葉会幹事〉

朝寝坊な人達にはとうてい分ってもらえないかもしれないが、早朝登山は実に気持ちのよいもので健康増進のもとにもなるのだから神戸の背山には毎朝かなりの数の人達が如何にも楽しげに軽やかな足を運んでいるのです。

雨の日も雪の日も、風が吹いても寒くても、山を休まない、いや休めない人がかなり多いということとは、いかに山が魅力にとんでいるかの証拠であると思います。

清葉会というかわった「謡曲」グループはその早朝登山の楽しみを知る人達によって最初生み出されたのです。

昭和四十五年の二月頃から、再度山・灯籠茶屋の二階で「うたい」がきこえるようになりました。

観世流の「謡曲」の先生の早川さんが、山に登り始め、登山のついでに謡を習いたい希望をもつ人が、次第にふえて来たからです。

ところが、その内、けいこだけにとどまらず、毎朝みんなで一番ずつうたうことにしようと相談がまとまり、曲名をきめて、毎朝七時からうたい始めるならわしが出

来、これを清葉会と名付けました。

会長に元山清氏・副会長坂本孝次氏と陣容をととのえ、山の謡曲趣味の会として発足したのですが、この会は「謡曲」については素人ばかりの集りで、他所で合わない「謡曲」になつたりして困るといので、会長が師事している洪井先生と、前記早川先生に顧



46年10月、レストハウス「石」屋上で開いた御月見別会

問になつて頂きました。

その年の九月二十二日には再度山の頂上の大龍寺で、発会をかねて第一回大会を開き、次第に新しい内容をもってきました。

四十六年四月に灯籠茶屋が、二階を改築し、板の間をつくつて下さったことは、清葉会のためばかりではなかったかもしれませ

が、私達にとっては仕舞のホームコートが出来たことになり、以後清葉会は飛躍的に発展して参りました。

現在では会員約四十名の趣味のグループとなりましたが、私達はこのつどいをさらに大きくしていきたいと思っています。

私達日本人のもつ、世界的な芸術を、趣味として楽しみたい方のつどいの中に、入ってみたい方があれば、私達は双手をあげて、お迎えしたいと思っています。

謡や仕舞を途中でやめた方、或いは楽しむ機会をお持ちでない方がいられたら、朝早くおきるのは一寸眠いでしようが、灯籠茶屋まで御足願ひ「うたう」楽しさを満喫していただきたいと思ひます。因みに費用はほとんどありません。一カ月の会費は三百円でそれ以上は必要ありません。

最後に、この清葉会が育つことが出来る地盤となつて下さった灯籠茶屋の皆さんに心からの謝意を表わしたいと思ひます。

写真は仮設舞台の上、背後には金屏風、舞台周辺には、秋の七草をあしらひ、「小督」の情趣を楽しんでいるところです。

連絡場所

神戸市兵庫区宮前町一五 坂元英夫方

清葉会

電話 六七一一八二〇六

AFIA<エフ・ア>

とお呼びください。

AFIAは、1918年に米国の有力損害保険会社が集って組織した世界的損害保険機構で世界80ヶ国、日本国内では35都市に支店、営業所を設け皆様のお役に立っております。

●ユニークな家庭用保険

マイホーム保険

- 住宅総合保険
- 手荷物保険
- 個人賠償責任保険

●交通戦争からあなたを守る

セイフドライバー保険

- 自動車保険
- 自動車塔乗者傷害保険

●年収の10倍を補償する

KEYMAN傷害保険

- 1日24時間 1年365日世界中どこにいても有効



WORLDWIDE INSURANCE

- ホーム保険株式会社
- グレートアメリカン保険株式会社
- ハートフォード火災保険株式会社

神戸支店
 葺合区御幸通 8-5
 (三宮ビル南館 4F)
 Tel. 231-6661(代)

☆あなたも損害保険代理店を
 経営してみませんか？

資本は不要、あなたの信用と能力を生かし、多角経営で
 収入を安定させてください。